

外国人居住者と交流深める



地域住民と談笑するベトナム人居住者(右)

男山団地の外国人居住者を対象にした住まい方の説明会や地域住民との交流会が2月4日、UR男山団地中央センター集会所で行われました。

男山団地 住まい方説明会・地域交流会



ごみの出し方の説明を受けるベトナム人居住者たち

この取り組みは、増加する外国人居住者と地域住民が互いの理解を深め、顔の見える関係となることで地域の安全・安心につなげよう、UR都市機構、八幡警察署、市などが連携して実施しました。

参加したベトナム人居住者33人は、はじめに生活ルールなどを勉強。警察署員や市職員などが通訳を介して、交通ルールやごみの出し方などを説明しました。

また、日本の文化に触れてもらおうと、ベトナム人居住者たちは「節分」の豆まきも体験。地域住民たちと一緒に笑顔を見せながら、鬼に向かって豆をまいていました。

参加者を代表してあいさつしたランさん(26)は「男山団地の規則を守るように頑張っていますが、わからないこともまだあるので、今日の説明会と交流会は本当に役に立つと思います」と笑顔で話していました。

市職員が講師を務める税金についての出前授業が2月6日、中央小学校で行われ、6年生45人が税金の種類や使い道などを学びました。

税金の仕組みや使い道考える 中央小学校で出前授業

まちの話題

このページでは、市民の皆さんの活躍やまちの話題などを紹介しています。
身近な話題や、広報紙についての意見を、秘書広報課までお寄せください。



税金の使い道を考える児童たち

鬼に向かって紅白玉を投げる園児たち



勇気を出して「鬼は外」

南ヶ丘保育園で節分行事

2月3日の「節分」の日、商工会青年部の部員たちが豆まきの鬼役として南ヶ丘保育園を訪問し、2～5歳の園児53人が豆に見立てた紅白玉を鬼に向かって投げ、今年1年の健康などを願いました。



やまぐち りょうま 山口 稜真さん

今月のこの人 国体優勝 天候読み切る

山口さんは、いきいき茨城ゆめ国体2019「少年男子舵手つきクオドルプル」に、京都府代表の選抜チームの一員として出場し、優勝しました。



ゴール後の京都府代表チーム

令和元年10月に開催された、いきいき茨城ゆめ国体2019(第74回国民体育大会)の「少年男子舵手つきクオドルプル」で優勝。京都府立海洋高等学校3年生。